

参加者、

青木、石川、神前、佐藤、柴崎、鈴木、  
鷺飼、中島、三浦、山岡、遊佐、

BMW RS Club

# かわらばん

Nov 10, '96

箱根から亀石峠を経て、  
修善寺～伊豆高原へ

早いものでこの七日はもう立冬。暦の上では冬になり、山々からは雪の便りも聞かれ始めました。今頃は何度か走ったあの峠も、肝を冷やした幾つかのコーナーにも雪が舞い、来年のゴールデンウイークが明けるまでは、一面の雪の下に埋もれてしまう事でしょう。

先月の一泊ツーリングから瞬く間に一月がたちました。ここにきて冷え込みも強まって、都内でも山茶花(さざなみ)が咲き、赤い実をつけたナナカマドや、花ミズキの葉も日ごとに色付き始めました。そこで今回はいつもながらに雪の心配の無い、伊豆方面へ行くことになりました。下り坂だった天気予報も、良い案配に前日には好天に変わり、集合地の東名海老名SAへ向かう車も多く、なにか楽しげにパトカーまで走っている始末です。9台が集まったところで、神前さんより電話が入り、近所でヒッタクリのバイクを追っていて遅くなったとか(遅られたそうです)。そこで暫く待ちましたが来ないので、8時半に出発し厚木で鳥飼さんに合流して、小田原厚木道路で箱根ターンパイクに入ると彼が居て、これで計11台となりました。

坂を上り始めると周囲は紅葉に彩られ、先日の磐梯吾妻を彷彿(ほうふつ)させるような感じでした。ハゼやウルシが赤く染まり、過ぎ行く秋を惜しんでいるかのようです。そんな中で上方に雪を戴く靈峰富士が雲間から顔を見せ、なんとも贅沢に感じるコースを、血相変えて一息に走り去るのが惜しくさえ感じました。頂上に近付くと霧が流れ、横山大觀が「ここで見る富士山が一番きれいだ」と言ったといわれる大觀山では、その富士山が雲の中に隠れて居ました。

ホームコースの伊豆スカイラインを、一気に亀石峠まで飛ばし、休憩をしながらどこで昼飯を食うかの鳩首会談です。というのも今回は些かアバウトな企画で、私と鈴木さんとで、「季節がら天気のこともあるから、その日の具合で事を決めようね」という事になっていたからなのです。当初は西伊豆に回り、三津浜で「いけす料理」を食べる筈でしたが、だいぶ腹も減ったし、西伊豆は遠いからと、六月に行って好評だった大室山に近い、伊豆高原の割烹「ゆき文」に決めました。食べるところが決まったらホットしたのか、余程スキッ腹だったのか三浦さんが立ゴケです。修善寺サイクリングセンターを過ぎて、出光のスタンドを左に折れ、修善寺中伊豆街道という、細くて車の少ない道を飛ばします。周囲は竹林と鬱蒼(うっそう)たる木立が、かぶさるように生い茂り、日差しを包み隠すかのようで、濡れた道に落ち葉が張り付き、今まで飛ばしていたメンバーのペースも、グット落ちようというものです。確かに濡れ落ち葉は始末に悪いものですね??

さらに下田街道を抜け、湯が島に入ってから、左折場所を行き過ぎたことが分かって、狭い道で「ヨッコラショ」とUターンです。11台もの大型バイクが回るのですから、大行列よろしく「下にろ～」とばかりに車を止めてしまいました。

伊豆スカイラインの出口を左に見ながら冷川峠に入り、誰かがクラウザーコーナーと呼ぶ、カーブの多くて厳しい峠を抜けて、再び伊豆スカイラインに入り、予定通り12時10分前に到着です。六月に来たときには白い花を付けて、辺り一面に香りを振り撒いていた甘夏ミカンの木に、見事に青い実がなっています。青々としていた前の桜並木も、紅や黄色に紅葉が始まっています。季節のうつろいを感じます。

いつもながらに色が白くてボインで(綻びがあるようですが)、とても素適なおカミさんの行き届いた面倒で、車海老から始まるテンプラを食べ、サービスにしてくれた皮ハギの薄造りで、ごく軽く(?)飲ましたが、気温も汗ばむほどに上がり、乾いた喉と五臓六腑にビールがしみわたりました。とても平和で優雅な気分です。

帰途は海を右手に見ながら海岸線を走りました。沖合の初島がすぐそこに見えます。前を行く神前さんが奇麗な店に入って行きます。酒好きの多いグループですから、てっきり魚屋かとホクソ笑えんだら、なんとナントお芋を使った「石舟亭」というお菓子屋さんでした。このクラブには両刀使いの多いことを忘れていました。

千物屋の立ち並ぶ網代の町を抜け、下多賀で左に入って山を抜け、「頬朝ライン」から熱海の梅園の道に下ると3人のボリ公がジロリ。そこはマナーにうるさいRSクラブのことですから、全車が完全に一時停車です。

熱海峠から伊豆スカイラインに入って箱根峠に出ると、目の前が一望に開けて富士山が顔を出しました。後は箱根新道を一気に下ると、七曲がりを過ぎた辺りの紅葉が奇麗でしたが、これで今年の紅葉も終わりでしょう。

料金場の前に顔を揃えたところで解散式。各自が各々の方向へ散って行きましたが、流石にもう一度、峠を攻めに行く人は居ませんでした。(もしも居たら病気で、病名はさしつけめ峠攻め興奮症といったところでしょうか。これに近い人は居ますよね~)

仕事疲れ?か疲れた感じだった鈴木さん。幹事役ご苦労様でした。次回はいよいよ今年最後のツーリングです。この後は来年3月まで休みになります。奮ってご参加下さい。

最終ツーリングは12月1日です。